

# 祝 辞



中野都税事務所  
内藤 所長

皆さま、明けましておめでとうございます。

東京都中野都税事務所長の内藤でございます。

本日は、公益社団法人中野法人会の「新年賀詞交歓会」にお招きいただき、誠にありがとうございます。

旧年中は、宮島会長をはじめ会員の皆様方には、都政全般にわたり、深いご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

また、当所の税務行政に対しましても、都税広報記事の会報掲載や、各種イベントでの広報協力、適正な申告納付や、電子申告の推進活動など、格別のご協力をいただいておりますことに、重ねて御礼申し上げます。

さて、9月にはいよいよ、ラグビーワールドカップ2019の開催を迎えます。東京スタジアムで行われる日本対ロシアの開幕戦から、約1か月半にわたり、全国12の都市で世界トップレベルの熱戦が繰り広げられます。東京スタジアムでは8試合が行われます。

そして、東京2020オリンピック・パラリンピック大会も、来年と迫ってまいりました。

開催都市・東京の顔であるボランティアにも、多数のご応募をいただき、また、競技会場の整備や大会気運の醸成など準備は着実に進んでおります。大会準備を通じたバリアフリー化の進展や働き方改革の推進など、東京を持続的な成長とさらなる成熟へと導くレガシーの構築に向け進めてまいります。

また、東京都が持続的に成長を続けていくために、本年も引き続き、「人」に焦点を当て、中でも「待機児童対策」「高齢社会への対応」など、都民一人ひとりに的を当てた施策を推進してまいります。

多くの課題を乗り越え、誰もがいきいきと活躍できる東京を実現するうえで、皆様から納めていただく都税は大切な財源となります。皆様からのご協力をいただきながら、都税収入の確保に一層努めるとともに、中小企業支援対策や環境対策など、税制面からの支援も継続してまいります。

中野都税事務所といたしましても、本年も納税者の皆様の立場にたち、親切できめ細かい対応を心がけながら、適正かつ公平な税務行政の推進と、効率的な事務運営に努めてまいります。

結びに、新しい年が公益社団法人中野法人会にとりまして、更なる飛躍の年となりますよう、また、会員の皆様方のご健勝とご活躍を心から祈念いたしまして、新年の挨拶とさせていただきます。

本年もどうぞよろしくお願ひいたします。



酒井 区長

皆さん新年明けましておめでとうございます。本日は、中野法人会の賀詞交歓会にお招き頂きましてありがとうございます。

去年、実は私も、中野法人会の会員になりまして、野方に事務所がありますので、第3支部に入らせて頂きまして、総会に出席させて頂いたんですけど

も、本日は第3支部ではなく来賓としてお招き頂きまして誠にありがとうございます。

法人会という事で、税の啓発等に対し、皆さんには、本当にお世話になっているところでございます。「租税教室」も頻繁にやって頂いており、明後日の土曜日、北原小学校で行われる「租税教室」に、私は家が近所なものですから、宮島会長から一度租税教室は見ておいた方が良いと言われたので、見学に行く予定でございます。

さて、今年ですけれども、私が区長になって半年くらい経ちました。中野区の十年後をどういう風にしていこうかという、十年後の街の姿を描く基本構想というものを新たに作る事で、今、丁度、基本構想を議論して頂く人達、区民の委員を募集しているところでございます。一年半くらいかけて、新しい中野の街の姿を描いていきたいと考えております。

中身としては、今後の日本社会、少子高齢化がますます進んでいく中で、都市部においては高齢者の数はこれから少し増えていくという事、ピークが2045年頃という事なので、十年後より更に先になってしまいますが、そんな局面を迎えるにあたり、この街をどうやっていこう、持続可能な街としてどう盛り上げていくかという事を、多くの皆さん、それから議会の皆さんとともに、しっかり議論していきたいと思っております。

今、来年度・平成31年度の予算の最終局面という事で準備をしているところでございます。税金というのは、今後、税収が上がっていくのか下がっていくのか、難しいところではございますけれども、皆さんからお預かりした税金を大切に一円も無駄にする事なく、中野のまちづくりを進めていくために、しっかりと活用させて頂きたいと思っております。

中野法人会の皆様には引き続き、中野のまちづくりや税の啓発等についてお世話になると思いますが、どうぞ本年もよろしくお願ひします。

本日はお招き頂きまして大変にありがとうございます。